

## 1. 一般事項

### (1) 施工時の事前確認

- ・ 施工前に現地寸法を実測し、設計図との整合を確認する
- ・ 設計図と現地の相違がある場合は監督員と協議する

### (2) 損傷箇所への対応

- ・ 設計図に示した箇所以外で損傷を確認した場合は、監督員と協議のうえ必要に応じ  
て対策を施す

## 2. 各工種における留意事項

### (1) 橋面工事（防水工・舗装打換工）

- ・ 床版保護のため、舗装切削は慎重に行う
- ・ 床版上面の脆弱部発見時は、監督員と協議の上、超速硬モルタル等で補修する
- ・ ポリマーセメントモルタル施工時はチップング面に打継用接着剤(#202-72h 同等品)  
を塗布する
- ・ 床版上面の清掃・乾燥を十分に行い、防水層の接着性を確保する
- ・ 気象条件（気温・降雨）を考慮し施工する

### (2) 桁下工事（断面修復工・剥落防止工）

#### 1) 断面修復工

- ・ 未記載損傷の発見時は、監督員と協議の上、適切な対策を講じる
- ・ コンクリートの脆弱部は健全部まではつり取る
- ・ 既設 PC 鋼材・鉄筋保護のため、カッター切断・はつり作業は慎重に行う
- ・ 劣化進行が確認された場合は、監督員と協議の上、修復範囲を決定する
- ・ 断面修復材の施工は、メーカー指定の施工要領書に従う
- ・ 施工完了後、たたき点検により浮きがないことを確認する

#### 2) 剥落防止工

- ・ 断面修復工完了後に施工する
- ・ 既設部材に損傷を与えないよう慎重に作業を行う
- ・ 不陸調整工は気泡（ボイド）部のみに充填し、全面への薄付けは行わない

### 3. その他の事項

#### 7-3-1. 安全管理

##### (1) 第三者への配慮

- ・通行車両や近隣住民への注意喚起看板を適切に配置する
- ・作業員の安全帯等、墜落防止措置を徹底する
- ・工具、材料の落下防止対策を徹底する
- ・車線境界部のカラーコーン配置は NEXCO 中日本または精通業者の指示に従うこと

##### (2) 高所作業車における安全管理

- ・作業開始時に車両の点検を実施する
- ・動作前には、必ず架空線等の上空施設の状況を確認する
- ・アウトリガーを張り出す際は、周辺状況を十分確認する
- ・ブーム移動時は進行方向の安全を確認する
- ・無理な姿勢（バケットから身を乗り出す等）での作業は行わない
- ・強風時（風速 10m/s）や濃霧時には作業を中止する

##### (3) 環境に対する安全管理

- ・火気管理を徹底し、作業中の喫煙を禁止する
- ・作業完了時の清掃・ゴミ回収を徹底する

##### (4) 災害時の対応

以下の場合は作業を中止し、作業員を安全な場所へ避難させ、監督員へ報告する。

- ・雷雨、豪雨等の悪天候が発生または予想された場合
- ・震度 4 以上の地震発生時
- ・気象庁から地震に関する情報（緊急地震速報等）が発表された場合

#### 7-3-2. 品質管理

- ・橋面工事（防水工・舗装打換工）は天候を考慮し、降雨確率が低い時期を選定する

#### 7-3-3. 工程管理

- ・桁下工事の際は、高速道路の交通規制に伴う規制資材の設置・撤去時間を考慮する

#### 7-3-4. 関係機関との調整

##### (1) 事前協議

中日本高速道路株式会社との協議は工事着手の 2～3 ヶ月前までに完了させる

##### (2) 緊急時対応

- ・緊急時の連絡体制表を作成し、関係機関の連絡先を常時把握する
- ・災害時の避難経路図を作成し、作業員に周知する